

未来への扉

教会長 高阪健太郎



宍子先生は5月19日午後5時13分老衰のためご帰
幽。86歳7ヶ月。面会解除を受けてようやく見舞えた
数分後の急変。待つていてくれたかのようにやく見舞えた
き神みはかりのままに松太郎先生一年祭に合わせての
告別式となりました。

旧教会霊舎御扉及び旧材が修造されエントランスに帰って
きました。圧倒的な存在感、それはあたかも先代教会長一年
祭に合わせてご霊神様方からのおくりものであるかのように。

一年前の五月中旬、現会堂の長椅子や結界机などを制作し
てもらった「サラストイル」の松江晃一氏（松阪新町教会教徒）か
ら、廃業の通知とともに工房に預けたままになっている旧材の
取り扱いについて相談のメールがあった。懐かしい霊舎御扉
と内殿柱数本の写真が添えられていた。旧広前の神殿は御扉
式ではなく霊舎だけ小さめの御扉があった。教団の方向性を
察知した祖父二代先生の意向と聞く。貴重なものゆえ旧広前
解体時に保管を依頼したものの、これといった再利用のアイ
ディアも思いつかぬまま、半ば失念しかけていたようなこと
であった。そこで本業の傍ら欄間師として親教会の欄間など
造作を手がけた経験のある岡田典明氏に修造の依頼をしたの
だが、その直後に先代が帰幽。五十日祭を終えた足で飯南町
の工房を訪ねたのが昨日のこのように思う。

二代先生の孫の筆頭でもある岡田氏の熟練の技巧をもって
蘇った旧霊舎御扉を、一年祭のポスターから父の横顔が嬉し

そうに眺めているように見える。父だけでなく伊勢教会の御霊様が総出で参りくる私たちを暖かく出迎えてくれているようにも見える。

「真心（しんじん）の道を迷わず失わず末の末まで教え伝えよ」御扉の奥からその祈りが聞こえてくるかのようだ。

これは単なるメモリアル・オブジェではない。伊勢教会の未来への扉なのだ。



《開門》
平日6:00~18:00
土日祝祭日8:00~18:00

《御祈念》
平日6時・14時
土日祝祭日10時・14時

《月例祭》
1日 月始祈願
10日 金光大神祭日
22日 天地金乃神ご縁日
(いずれも10時)

金光教伊勢教会
〒516-0073
伊勢市吹上1丁目8-25
Tel 0596-28-5869
<https://ise.konko.info>
ise@konko.jp

信徒会にご入会ください
年会費一人一口1,000円
(最小二口2,000円~)
振込先 東海労働金庫
伊勢支店3827637



伊勢教会ウェブサイト
<https://ise.konko/info>



伊勢教会
公式LINEアカウント

予定表（行事及び留守日）

6月

- 1 (木) 月始祈願祭 (10:00)
- 10 (土) 金光大神月例祭 (10:00)
- 11 (日) 教団独立記念祭参拝 (本部/長)
- 12 (月) 大津親教会月例霊神祭 (祭主当番)
- 19 (月) 教区教会長教師集会 (京都/長)
- 22 (木) 天地金乃神月例祭 (10:00)

(最新の情報は公式LINE
またはホームページでお知らせします)

峯子先生旬日祭について

7月2日(日)11時

五十日・合祀祭
(続いて納骨式)

その他旬日祭は

5月28日、6月7日、17日、
27日に午後2時のご祈念に
合わせて執り行わせていた
できます。